

平成 20 年度燧灘卵稚仔調査

第 10 回

平成 20 年 9 月 5 日

カタクチイワシ卵の出現状況（燧灘）

前年同時期よりも多かったが、前回よりも大幅に減少した。

前年	平成 19 年 9 月 5 日（7 点の平均）	4.86 個
前回	平成 20 年 8 月 13 日（17 点の平均）	44.41 個
今回	平成 20 年 9 月 1 日（6 点の平均）	10.67 個

カタクチイワシ稚仔魚の出現状況（燧灘）

前回よりも増加した。

前年	平成 19 年 9 月 5 日（7 点の平均）	0.14 尾
前回	平成 20 年 8 月 14 日（17 点の平均）	4.29 尾
今回	平成 20 年 9 月 1 日（6 点の平均）	12.17 尾

プランクトン調査（燧灘）

全定点を通じて優占種はウミタルであった。餌として価値のあるカイアシ類は非常に少なかった。

今年度のカタクチイワシ卵稚仔調査は今回で終了とします。

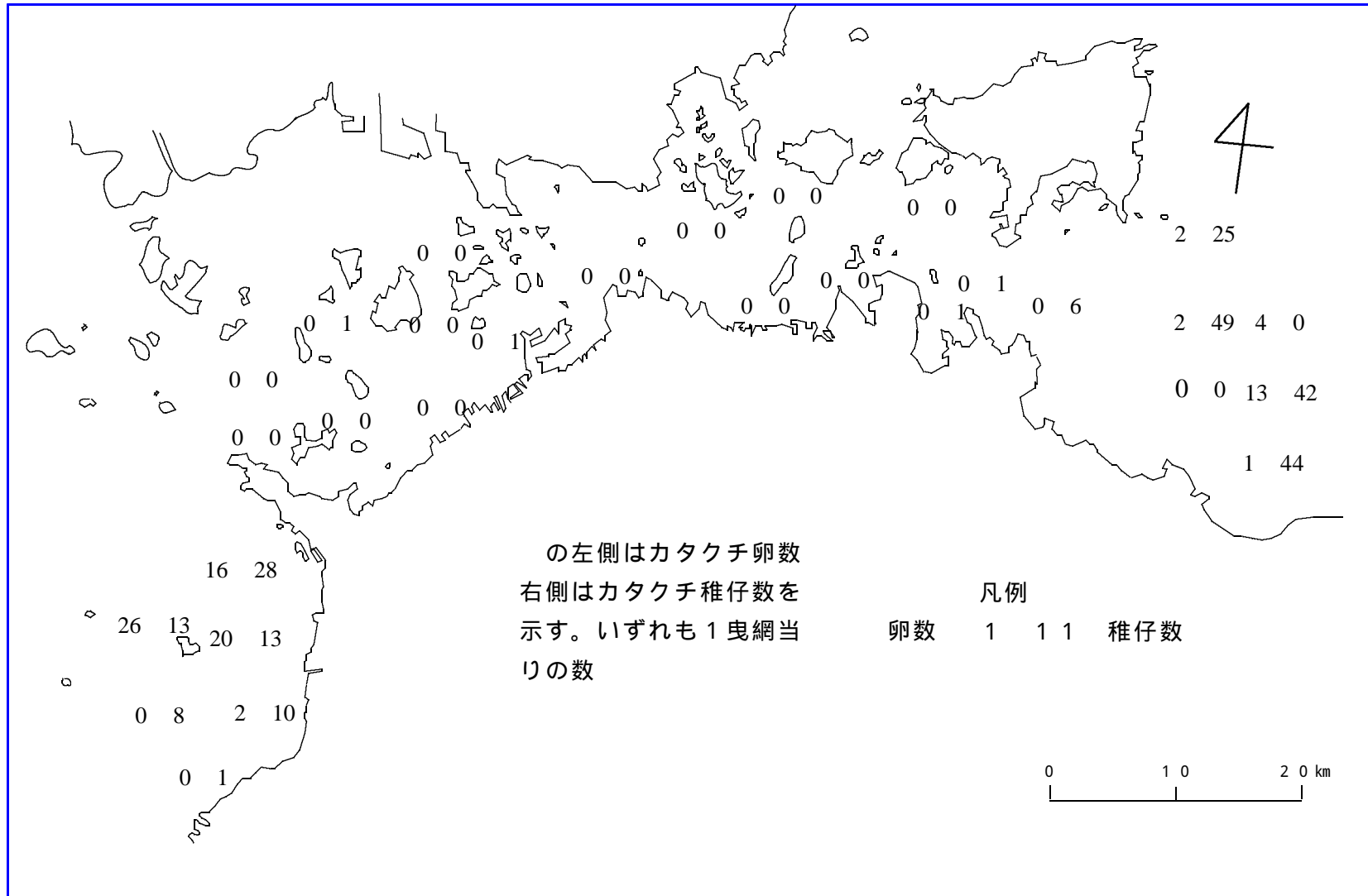
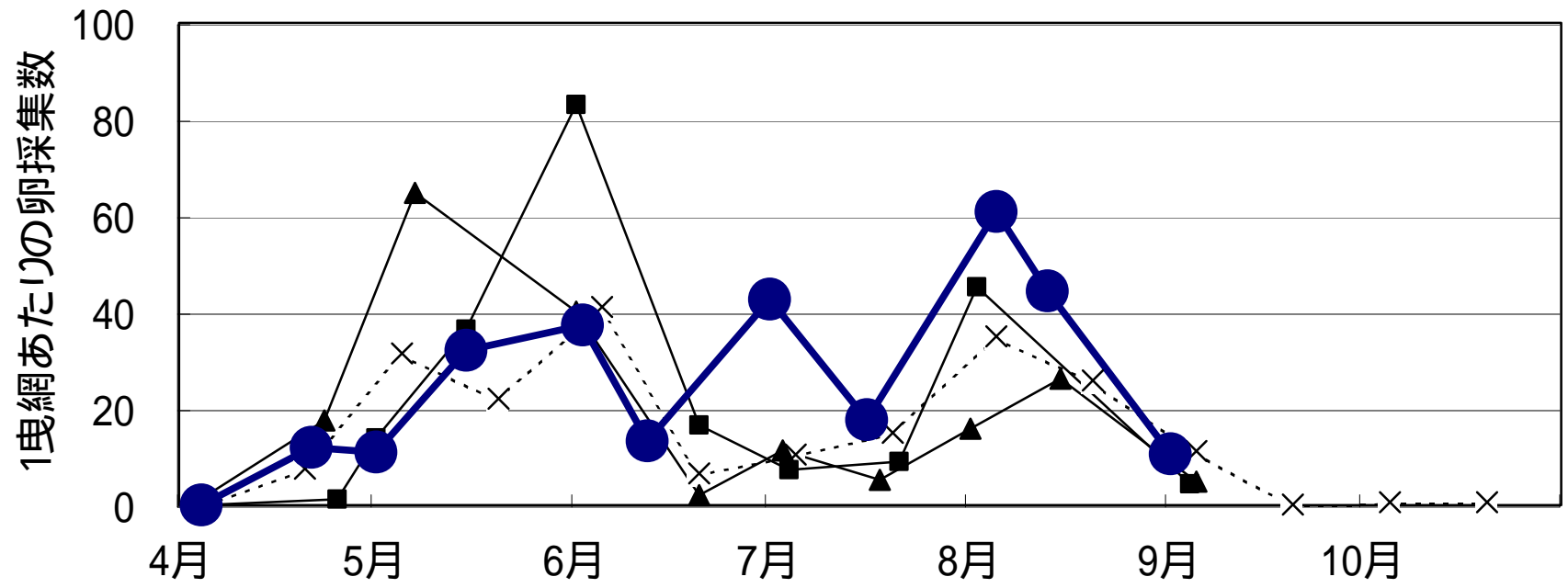


図 一曳網あたりの卵および稚仔採集数



燧灘におけるカタクチイワシの卵出現状況

...×... 平均値 (H5-H19) —■— 平成18年 —▲— 平成19年 —●— 平成20年

平成20年度浅海定線卵稚仔調査 (10回目)

9月1日(備讃瀬戸 燧灘),2日(播磨灘)

ST	曳網水深	カクチ卵	マイワシ卵	その他卵	カクチ稚仔	マイワシ稚仔	その他稚仔	
燧灘	H2	20	16	0	1	28	0	10
	H3	20	20	0	9	13	0	11
	H4	20	2	0	2	10	0	7
	H5	20	0	0	0	1	0	3
	H6	20	0	0	4	8	0	4
	H7	20	26	0	3	13	0	9
	燧灘合計		64	0	19	73	0	44
備讃瀬戸	9	10	0	0	10	0	0	2
	10	10	0	0	5	0	0	3
	11	30	0	0	2	0	0	0
	12	20	0	0	12	1	0	3
	13	10	0	0	6	0	0	1
	14	10	0	0	1	0	0	6
	17	20	0	0	6	0	0	0
	18	20	0	0	13	1	0	6
	19	10	0	0	3	0	0	0
	20	10	0	0	1	0	0	3
	21	20	0	0	0	0	0	5
	22	20	0	0	1	0	0	2
	23	30	0	0	3	0	0	2
	26	10	0	0	1	0	0	2
SH1	10	0	0	3	1	0	0	
備讃瀬戸合計		0	0	67	3	0	35	
播磨灘	1	30	0	0	5	1	0	11
	2	30	0	0	1	6	0	21
	3	30	2	0	20	25	0	16
	4	30	2	0	14	49	0	18
	5	30	0	0	0	0	0	28
	6	30	13	0	7	42	0	32
	7	30	4	0	2	0	0	18
	HK1	20	1	0	0	44	0	26
播磨灘合計		22	0	49	167	0	170	
燧灘平均		10.67	0.00	3.17	12.17	0.00	7.33	
備讃瀬戸平均		0.00	0.00	4.47	0.20	0.00	2.33	
播磨灘平均		2.75	0.00	6.13	20.88	0.00	21.25	
香川県合計		86	0	135	243	0	249	
香川県平均		2.97	0.00	4.66	8.38	0.00	8.59	